

# 薬物治療学Ⅲ

## 研究室紹介

## < 研究室の特徴 >

- ◆ 北里研究所病院の薬剤師・医師(専門医)との共同研究が多い
- ◆ 臨床現場にフィードバックできるような研究を行っている
- ◆ 基礎的な研究も行っている
- ◆ 教員は病院薬剤師も兼務



現場で働く薬剤師としての視点から指導

### 薬物治療学Ⅲ教室メンバー



# < 研究室の概要 >

## ◆ 構成員

教員 5名

大学院生 1名

学部6年生 5名

学部5年生 5名

## ◆ 所在

北里研究所病院 地下1階



# < 教員 >

## ◆ 教授/薬剤部長： 松原 肇

薬学博士，栄養サポートチーム専門療法士，ICD，認定実務実習指導薬剤師  
日本医療薬学会指導薬剤師，日本医療薬学会認定薬剤師

## ◆ 講師/薬剤部課長： 井上 岳

日本糖尿病療養指導士，糖尿病薬物療法認定薬剤師，認定実務実習指導薬剤師

## ◆ 助教/薬剤師： 藤尾 千裕

認定実務実習指導薬剤師，医療薬学専門薬剤師，スポーツファーマシスト

## ◆ 助教/薬剤師： 宮下 博幸

認定実務実習指導薬剤師，病院薬学認定薬剤師，栄養サポートチーム専門療法士

## ◆ 助教/薬剤師： 井口 智恵

研修認定薬剤師，漢方薬・生薬認定薬剤師

# 薬物治療学Ⅲ教室(病院地下1階)への アクセス方法

北里研究所病院の入口は東洋医学研究所側にある職員通用口を必ず使用してください。  
地下1階へは必ずC階段で降りてください。**エレベータの使用は禁止**します。



病院の正面玄関および時間外出入口は使用を禁止します。



# < 年間スケジュール >

4月

5月 研究室旅行

6月



7月 卒業論文発表会

8月



9月

10月



11月

12月

1月 新配属生歓迎会



2月

3月 卒業式・祝賀会・謝恩会



事前実習

事前実習

実務実習

# < 1日のスケジュール >

臨床研究:

糖尿病に関する研究を実施している学生の例

8:30 研究開始

糖尿病外来のある時

→外来見学

外来で対象患者様に対して研究の説明

10:30 文献, カルテ調査, データ整理

12:00 昼食

13:00 研究再開

糖尿病外来のある時

→外来で対象患者様と結果の確認

15:30 文献, カルテ調査, データ整理

16:50 掃除

17:00 コアタイム終了

研究打ち合わせ・勉強会がない時

→帰宅

研究打ち合せ等がある時

→17時以降にも実施

勉強会がある時 (自由参加)

→薬剤部の勉強会などに参加

~19:00 帰宅

# 現6年生 研究テーマ

## <糖尿病>

- ◆2型糖尿病外来患者におけるFGM(Flash Glucose Monitoring)を用いたリラグルチドとデュラグルチドとの効果比較研究(第3報)
- ◆新たに作成したシックデイ時の対応リーフレット(患者用)に関する糖尿病チームスタッフへのアンケート調査
- ◆2型糖尿病患者における糖尿病合併症予測リスクエンジンの有用性に関する後ろ向き研究

## <麻酔・周術期>

- ◆人工関節置換術後の静脈血栓塞栓症予防における薬物的予防法の効果と安全性に関する後ろ向き観察研究(継続)

## <IBD>

- ◆腸管マクロファージにおけるIL-1 $\beta$ /IL-1Rを介したIL-10産生機序の解明

# 現5年生 研究テーマ

## <糖尿病>

- ◆2型糖尿病外来患者におけるFGM(Flash Glucose Monitoring)を用いたリラグルチド(ビクトーザ®)とデュラグルチド(トルリシティ®)との効果比較研究(後ろ向き研究)(継続)
- ◆北里研究所病院受診中の糖尿病患者におけるシックデイ時の対応パンプの有用性の検討(継続)
- ◆2型糖尿病患者における糖尿病合併症予測リスクエンジン(JJリスクエンジン)の有用性に関する後ろ向き研究(継続)

## <栄養>

- ◆静脈栄養製剤の使用実態に関する後ろ向き研究

## <IBD>

- ◆炎症性腸疾患とその病態制御に関する研究





見学希望の方は、事前連絡の上、  
薬物治療学Ⅲ教室までお越してください。  
お待ちしております 🐱 🐱 🐱